

## 教育現場に求められる救急処置能力の修得

### 研究キーワード



- 幼児教育・保育分野  
乳児保育、子どもの保健、健康と安全の分野における研修
- 健康づくり分野  
教育現場に必要な救急処置、食物アレルギー対応の研修、出前教育講座

### 連携アピール



- 教職員への研修：保育・学校現場に求められる救急処置は、医療機関に搬送するまでの適切な手当てが求められます。子どもたちの命を守るために、教職員は日頃から正しい手当ての知識と、行動にうつすための実践力を備えておく必要があります。チーム学校の一員として教職員一人ひとりが自分の果たす役割について学び、課題を見出すための研修を提供します。
- 子どもたちへの講習：教育現場として、子どもたちにケガや事故を防ぐための安全教育を実施するとともに、自分たちでできる救急処置の技術を身につけさせることや、再発防止のための教育が求められます。出前講座として実践を交えた参加型の講習を実施し、確実な知識と技術の修得を目指します。

## 本研究の概要

- 学校で起きやすい事例をもとに、シミュレーション学習を行います。救急処置が必要な場面を再現し、どのような対応や連携が求められるのかを体験してもらうことで、救急処置に必要な知識と技術を修得し、今後の課題を参加者で共有します。
- 傷病者の心音や呼吸、血圧などを再現できる高機能患者シミュレータや心肺蘇生人形などを用いて、実践的な技術の修得を目指します。



## 研究者



小川 真由子 (おがわ まゆこ)  
教育学部教育学科 准教授

